

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立東部特別支援学校 伊東分校 P T A					
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input checked="" type="checkbox"/> 中学部	<input type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	42人				

1. 使用状況

寄贈物品名	屋外複合遊具
使用学年及び人数	小学部1～6年 児童 25人
使用頻度	週3日程度
使用状況	<p>天気の良い日の昼休み、小学部1～6年の児童10人くらいが使用（日により、入れ替わりあり）</p> <p>伊東小学校との交流活動（伊東小児童来校時）で使用</p> <p>不定期に生活単元学習の授業で使用</p>
物品の使用による変化や効果	<p>昨年度（R5年度）、旧伊東市立旭小学校跡地に移転した本校には、新校地に外で遊ぶ用の遊具がありませんでした。外で遊ぶことが好きな子ども達にとって寄贈していただいた複合遊具を設置した『プレイランド』は楽しい場所となりました。高い所が好きな子、滑り台のスピード感を楽しむ子、縄をつたいながら高い所に上る子・・・初めは、周囲で友達の楽しむ様子を見ていた子どもが、教師の手を取り、やってみたいと要求する場面も見られるようになりました。また、安全面の配慮から「順番」「待つ」というマナーやルールを学ぶこともできています。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>外遊び用の大型遊具が設置されたことで、外遊びを楽しむ子どもが増えました。今後は、学校間交流で来校する伊東小学校の児童と本校児童が遊具と一緒に遊ぶ予定もあります。また、体育の授業で使用することも視野に入れています。安全に使用するためのルールは、絵カードを使って子ども達に伝えてはいますが、慣れてきた所でけがや事故につながらないように、使用方法やルールを職員間で必要に応じて、再度確認していきたいと思っております。</p>
その他希望や所感など	<p>滑り台を含む複合遊具を寄贈していただき、教師の想像以上に子ども達の活動の幅の広がりを目の当たりにすることができました。今後は、「揺れ」を楽しめ、小学部のほとんどの子ども達が好きなブランコがあったらありがたいな、と思っています。</p>

2. 活用の様子



* 手と足を交互に出して慎重に渡っています！ * 上ったり、下りたり・・・ゆっくり慎重に。



* 滑り台、スピード大好き!!

* 自分で登り方を工夫してます。

* 高い所、大好き!!